

召会生活——キリストの中でかしらにつり上げられる生活

聖書：エペソ 1:10, 22-23. 3:15-17. 4:15. I コリント 11:3. I テモテ 1:4. ヨハネ 8:12

- I. 神の永遠の目的は、すべてのものを、キリストの中でかしらにつり上げることです。
キリストは立てられて、宇宙的なかしらとなりました——エペソ 1:10, 22：
- A. 神の永遠の定められた御旨は、時代の満了時のエコノミーにおいて、彼がすべてのものを、キリストの中でかしらにつり上げることです—— 1:10。
- B. すべての時代における神の案配を通して、すべてのものは新天新地において、キリストの中でかしらにつり上げられます。これは神の永遠の行政とエコノミーです——啓 21:1-2。
- II. サタンは神の創造を腐敗させ、混乱を引き起こすことです——ローマ 8:19-23：
- A. サタンが自分自身を人の中へと注入したとき、サタンは人にとって死と暗やみになりました。罪は死をもたらし、死は暗やみをもたらし、暗やみは混乱をもたらします。
- B. 全宇宙は、サタンが自分自身を死の要因として、神の創造の中へと注入することによって引き起こされた、崩壊の堆積です——ヘブル 2:14. ローマ 8:20-21。
- C. 神は働いて、すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることによって、彼の創造を束縛から解放し、自由へともたらしつつあります——エペソ 1:22, 10。
- III. わたしたちはみな崩壊の堆積から救い出され、キリストの中でかしらにつり上げられる必要があります——コロサイ 1:12-13：
- A. サタンの反逆と人の墮落によって引き起こされた宇宙の崩壊は、神に絶好の機会を与えて、彼の知恵を現させます——エペソ 1:8. 3:10. ローマ 11:33。
- B. 聖書によれば、神の救いは、わたしたちを墮落した罪深い状態から救うだけでなく、崩壊の堆積からも救います——エペソ 2:1-8, 21-22。
- IV. 召会生活は、キリストの中でかしらにつり上げられる生活です——エペソ 4:15. I コリント 11:3：
- A. 神は召会を通して、すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることによって、すべてのものをキリストの下に服従させます—— 15:20-28。
- B. 召会は神の選ばれた人たちを、キリストの頭首権の下で、かしらにつり上げることです—— 11:3. エペソ 1:10. 2:21-22. 4:15：
1. 正常な召会生活において、わたしたちはキリストの中でかしらにつり上げられつつあります—— 1:10。
 2. もしわたしたちが、キリストの中でかしらにつり上げられることが何であるかを知らないなら、召会を知ることはできません。
 3. 召会生活において、わたしたちはキリストの中でかしらにつり上げられることで率先しています。このために、わたしたちは命において成長する必要があります—— 4:15。
- C. すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることでの第一段階は、神が彼の選ばれた人たち、彼の子たちを、宇宙的な崩壊から連れ出し、彼らをキリストの頭

首権の下に置くことです—— 1:22. 4:15. 5:23. コロサイ 1:18. 2:10, 19。

D. 召会がキリストの中でかしらに上げられることで率先するとき、神は道を得て他のすべてのものをかしらに上げます——エペソ 1:22-23, 10 :

1. 召会は神に用いられる器であり、神の問題を解決し、神の定められた御旨を完成します。神の定められた御旨は、ご自身を人とミングリングすることによって、人を通してご自身を現すことです—— 3:9-11。

2. 最終的に、からだはかしらとしてのキリストと共に、万物に対する宇宙的なかしらとなります—— 1:22-23。

V. わたしたちは召会生活の中で、神聖なエコノミーにおける神聖な分与を通して、かしらに上げられつつあります——エペソ 3:15-17. 4:15. I テモテ 1:4 :

A. 神聖なエコノミーがわたしたちの中へと入って来ました—— I テモテ 1:4 :

1. キリストは神聖なエコノミーです。ですから、わたしたちはキリストを受け入れたとき、神聖なエコノミーをわたしたちの中へと受け入れました——ヨハネ 1:12-13。

2. 神聖なエコノミーがわたしたちの中へと入って来るのは、行政、案配、計画としてであり、あらゆるものを秩序正しくします。

B. 神は行政を通して、ご自身を彼の選ばれた人たちの中へと造り込みつつあります。この行政は甘い分与、親密な執事職、心地良い家庭の案配です——エペソ 1:10. 3:2.

I テモテ 1:4. 3:15 :

1. すべてのものをキリストの中でかしらに上げることが起こるのは、親密な執事職によって、心地良い家庭の案配によってです——エペソ 3:2。

2. 神の家の中で振る舞う道は、喜ばしい家庭の行政、親密な執事職を持ち、キリストを神の家庭のすべての人たちに分与することです—— I テモテ 3:15. 1:4。

3. 神のあふれるばかりの恵みは、すべてのものをキリストの中でかしらに上げることが完成します。このあふれるばかりの恵みはわたしたちの上で働いており、すべてのものがキリストの中でかしらに上げられるようにします——エペソ 1:7-8, 10。

4. 神の嗣業であるわたしたちが、生ける証印としてのその霊で浸透されればされるほど、宇宙でかしらに上げられる状況が、ますますあるようになります—— 11, 13 節。

VI. 召会生活の中でかしらに上げられることは、命と光によります——ヨハネ 1:4. 8:12 :

A. 神が回復する道は、キリストとサタンが相対すること、命と死が相対すること、光と暗やみが相対すること、秩序と混乱が相対することです。

B. 崩壊は死の要因から来ます。かしらに上げられることは命の要因から来ます——エゼキエル 34:4-10。

C. 神が彼の被造物の間で一を回復する道は、ご自身を命としてわたしたちの中へと分け与えることです——ローマ 8:6, 10-11, 19-21。

D. わたしたちは実行上、崩壊の堆積から救い出されるために、命において成長する必要があります。わたしたちは命において成長すればするほど、ますますかしらにつ

り上げられ、ますます宇宙的な崩壊から救い出されます——エペソ 4:15. コロサイ 2:19。

E. 神が命としてわたしたちの中へと入って来るとき、命の光がわたしたちの内側で輝きます。この命は死を飲み尽くし、この光は暗やみを一掃します——ヨハネ 1:4. 8:12. エペソ 5:8-9 :

1. わたしたちは命としてのキリストに満ちるとき、光の下におり、光の力によって制御されます。
2. 神は光であり、神の子供たちであるわたしたちは、光の子供たちであり、また光そのものでさえあります。なぜなら、わたしたちは主の中で神と一であるからです——I ヨハネ 1:5. ヨハネ 12:36. エペソ 5:8. マタイ 5:14。
3. 命の中で、また光の下で、わたしたちは混乱から救い出され、秩序、調和、一の中へともたらされて、キリストの中でかしらにつり上げられます——エペソ 1:10。